



むらさん

第20号

発行者

山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

印刷

中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700



村産祭

日頃、本校教育活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、様々な行事等がコロナ禍以前の状態に戻った年度でありました。

このような中、役員の皆様には、村産祭でのちの振る舞いや、あいさつ運動に取り組んでいただきました。また、むらやま徳内まつりの翌日に清掃ボランティア活動を実施していただいた地区もあります。コロナ禍は社会の枠組みを大きく変えた部分もあり、PTA



アフターコロナのPTA活動

校長 伊藤 久敏

活動全般についても以前の活動に戻してよいものかと迷いのあった年度であったかと思いますが、役員の皆様をはじめ、保護者の皆様には諸活動に積極的に取り組んでいただいたことに重ねて感謝申し上げます。

今後は、アフターコロナを見直しの良い契機ととらえ、保護者と教職員がともに意見と知恵を出し合いながら、新たなPTA活動を創り上げていくことが求められております。皆様には、今後ともご支援をお願い申し上げます。



開学十年目を迎えて

PTA会長 齋藤 淳哉

本年度、村山産業高校が開学十年目という節目の年を向かえることができました。振り返ってみますと、村山農業高校と東根工業高校が統合し、県内に先駆けて、「農業・工業・商業」が一体となった産業高校が誕生しました。

地域の人材育成に力を入れた教育のもと、積極的に先進的な取り組みにも挑戦し、その成果は、日々、新聞等のマスコミに多く取り上げられました。

また、PTAも参加させていたいただきました「村産祭」や第三回目の「ムラサンキタマチマルシェ」など、沢山の方に会場いただきました。

本校は、実業高校として実学主義のもと、様々な経験を積み重ね社会に貢献できる人材を育てています。

これからの益々の教育の充実と発展を期待します。

一年を振り返って

PTA副会長 植松 大祐

会員の皆様には日頃よりPTA活動に対してご協力頂き、誠にありがとうございます。

五月にコロナが五類となり、子ども達の日常も全てではありませんが、コロナ前に戻ってきました。村産祭、徳内まつり、ムラサンキタマチマルシェの開催等、私達PTAも共に参加させていただき、多に楽しませていただきました。また、子ども達の日頃の活躍は連日のように新聞等のメディアに取り上げられ、子ども達の自信や活力になっている事と思います。

十年目という節目を迎え、農工商三学科が揃うこの学校ならではの特色を生かし、子ども達の未来がより光り輝くものとなりますよう、PTAとしてより一層協力していければと思います。

PTA副会長 平山 龍一

村山産業高校PTAは、令和五年十月二十一日に開催された村産祭で、もちの振舞いを行いました。

コロナ禍で数年ぶりの活動となったため、準備は手探り

でしたが、地元の「もちやかた」さんから指導と協力を得て、当日はスムーズに運営することができました。

スタッフで参加した会員は、来校客の行列にも動じず、臨機応変な対応とチームプレイで、納豆もちときなこもちを各二五〇食用意しました。もちは大好評でしたが、全員に行き渡らなかったことは反省し、今後の改善に努めます。

本校は、むらやま徳内まつりへの参加など、学校と地域の交流を深め、生徒の学校生活をより豊かにする活動も行っています。

来年は、今年以上の会員の参加を期待します。



研修委員長 齋藤 秀一

研修委員長になり、コロナも開け、学校行事が少しずつ出来る様になりました。みなさんのご協力で成功することが出来大変感謝しております。

私自身、初めてのことでしたが一年間活動することが出来て、とても貴重な体験をさせていただきました。先生方、役員、保護者の皆様との交流も深めることが出来ました。

色々ご迷惑をかけましたがお世話になりました。本当にありがとうございました。



広報委員長 菅野 茂洋

今年度より行動制限が解除となり様々な行事が行われました。PTA活動として村産祭の餅配布に参加させていただき生徒達の活気を肌で感じる事が出来ました。又、新聞やTV等のメディアでも生徒達の活躍を目にする事も多く大変嬉しく思っております。

この経験が生徒達の大きな成長につながるかと思います。ご協力いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。



生活委員長 渡辺 敏充

PTA生活委員長としての一年を振り返ります。八月の徳内まつりは三年ぶりの通常開催でしたが、その活動は特別なものでした。地域の方々との協力と結束が、お祭りを成功に導きました。三年ぶりに蘇ったお祭りの雰囲気は、心温まるものでした。これから地域の皆さんと共に、優しさと

協力の絆を深め、子供たちが心から笑顔で成長できる場を築いていくことを心から願っています。



三学年委員長 笠原 秀一

今年度は、コロナが五類に移行となり、部活動の大会や村産祭、ムラサンキタマチマルシェなどに保護者の方や地域の方々が多数参加できるようになり、生徒達も無観客の時に比べて生き活きと活動できました。個人的には、学校祭がムラサンの産業高校としての強みを感じられ、来る人も生徒達も皆笑顔で良かったです。今年度もあと少しですが、生徒達が笑顔で学校生活を続けられるようご協力お願いいたします。

今年度は、ムラサンキタマルシェ、クラスマッチ、村産祭の開催など、脱コロナ禍が進み、生徒達が充実した学校生活を送れている事には先生方をはじめ保護者の皆様

一学年委員長 阿部 正任



これまでで中学から高校へとコロナ禍での学生生活を余儀なくされていましたが、普段どおりの高校生活を取り戻しつつある一年だったと思えます。思い出に残る関西方面への修学旅行、共に力を合わせた部活動や多彩な学校活動など、級友の笑顔とともに歩むことができた。これまでの学校運営への学校関係者のご配慮に感謝致します。今年度を大きなステップとして来年度の更なる活躍を望みます。

一学年委員長 柿崎 広志

入学式がついにこの間のように感じる一月初旬、能登半島地震や雪の無い正月と、例年に無く不安な新年を迎えた事と存じます。

今年度は、ムラサンキタマルシェ、クラスマッチ、村産祭の開催など、脱コロナ禍が進み、生徒達が充実した学校生活を送れている事には先生方をはじめ保護者の皆様

生徒会

活動報告

前期生徒会役員

会長 三年一組 森谷 岳琉
副会長 三年一組 鈴木 陽太
副会長 二年一組 増川 琳太
議長 三年二組 菅野 一星
副議長 二年二組 原田 陽生
応援団長 三年五組 遠藤美寿々

後期生徒会役員

会長 二年一組 増川 琳太
副会長 二年四組 佐藤 颯俊
副会長 一年二組 佐竹水雪雨
議長 二年二組 原田 陽生
副議長 一年四組 山口 晃季

前期生徒会長 森谷 岳琉

入学時から行動制限されたが、全校生徒の団結により今年に成功を収めた。村山産業高校は行事を通じて一体感と団結力を示し、自信と希望が芽生えた。新役員による新生徒会体制が始まる。「普通」の状態への移行は難しいが、全体で理解し協力して乗り越える決意、村山産業高校が団結し、新たな課題に立ち向かう姿は村山産業高校の未来を支えていく基盤となっていくと確信が持てる一年で、これからが楽しみな一年でした。



後期生徒会長 増川 琳太

私は村産をさらに活気のある学校にしていくために挨拶を大事にして一年間活動してきましたと思います。これまでの活動を通して反省点が見られました。この反省を次に繋げてさらによりよいものにしていくよう、話し合いなどを行いながら活動していきたいと思っています。そして生徒会長として学校を引っ張っていきけるよう努力していきます。これからも生徒会へのご協力よろしくお願いいたします。

飛躍 農・工・商

農業経営科 直原 悠太

記録的な酷暑下のなか各部門で収量、品質にも大きな影響がでた一年でしたが、実情を踏まえた研究テーマを設定し、課題研究に取り組みました。畜産部門では「酒かすを用いた持続的飼料の生産」、果樹部門では「剪定枝を活用した堆肥の研究」と飼料高騰に対応できる循環型農業のロールモデルを目指して研究に取り組みました。物価高騰が止まらないこの時代において、少しでもコスト削減を図り、学校圃場内で循環型農業を実践できる仕組みを確立できるように後輩達にも継続して頑張ってもらいたいです。



農業科・みどり活用科 青山 恵澄

本学科では、校外学習を多く設けました。西蔵王公園や空港花壇の植栽や、楯岡特別支援校や東根中部小学校との交流活動、UAVでのスマート林業の実践、木工ワークショップ企画運営、樹木再生の取り組みなど、日頃の基礎学習の成果を発揮しました。外部コンテストでも多数入賞ができました。保護者・地域の皆様の温かい御支援・御協力により、様々な活動が実施できました。



した。ありがとうございました。今後も応援よろしく願っています。

機械科 高橋 京吾

機械科のビッグニュース・ベスト三を申し上げます。第一にジュニアマイスター受賞者が、金七名、銀三名、銅三名と今までにない多数の人が出ました。第二に課題研究で製作したメカトロアイデアコンテストのロボットが、念願の県大会優勝を果たし、全国大会に出場しました。

第三にフューチャープロジェクトの一環として、今年度「全日本製造業コマ対戦むらさん場所2023」を開催しました。大会企画・準備から、二年生の探究活動を通して大会参加指導まで、忙しかったけれど何とか成功裏に収めることができましたと思います。



電子情報科 岡本 里紗

私は六月十日に県立産業技術短期大学校で行われた第十九回高校生ものづくりコンテスト山形県大会電子回路組立部門に出場してきました。県内の工業高校生が数多く参加しており、極度に緊張する中、これまでの練習の成果を発揮できるように取り組みました。

結果はソフトウェア部門で第二位でした。昨年は上手く作品やプログラムを作成することができず、ほかの選手を見ていたことしかできませんでしたが、今年は部活動の集大成として最後に成績を残すことができ嬉しかったです。校長先生をはじめ、応援してくださったすべての先生方に感謝します。



流通ビジネス科 有路 幸晟

流通ビジネス科は「会計分野」「マーケティング分野」「ビジネス情報分野」「マネジメント分野」の四分野の学習に取り組みしており、分野ごとに検定試験に挑戦、各検定試験で一級取得を目指し頑張っています。

私たちは就業体験や企業学校見学などの進路に結び付く研修や、総合実践などの授業を通じて進路学習に取り組んでいます。また今年度秋に開催された「ムランサンキタマチャマルシエ」では「広告と販売促進」の授業で学んだ知識を生かして商品POPを作成、二年生と協同で販売実習を行いました。お越しいただいた多くのお客様が好評を得ることができました。



三年間の思い出

三年一組 石澤 勇真

私の三年間の思い出は友人と話したり部活に熱中した日常です。修学旅行などの行事も大切な思い出ですが、友達と話すだけでも楽しかったです。また、農業の実習でも多くの時間を過ごしました。授業中に果物を食べたり、牛に軽く頭突きされたりしたことは良い思い出です。部活については陸上をしていました。毎日走り込み、より良い走り方を模索していました。練習をしていない間も陸上を考え、振り返れば予想以上に充実した時間でした。これは仲間や先生方が支えてくれたお陰です。これまで有難うございました。



三年二組 高橋 輝来

私の三年間の思い出は多くありますが、特に印象的なのは毎日のようにある実習です。

普通の高校では経験できないことがたくさんあるのでとても充実していました。野菜と草花の栽培を行い、畑や花壇での作業に取り組みました。

農作業は汗をかきながらの労働でしたが、自然との触れ合いとその達成感がここでき得ることのできないものだと思います。自然との関わりや友達との協力、努力から得られる喜びはとても価値があります。農業の魅力を学びながら自己成長できたことは、私にとって貴重な経験であり、思い出です。



三年三組 滝口 真生

高校三年間で充実した思い出がたくさんできました。クラスマッチでは、クラス全員が一丸となって挑戦し、三年間すべて三位に輝くことができました。文化祭では、二年生のときは射的でクラスみんなで協力し大成功、三年生では焼きそば屋をし、忙しい中役割分担し、美味しい焼きそばを提供しました。

これらの思い出は私の高

校生活を彩り、仲間たちと絆や団結力を深めるとともに、貴重な経験となりました。これからもこれらの思い出を胸に、未来に向かって進んでいきたいと思っています。三年間ありがとうございました。



三年四組 岡本 里紗

入学してからの三年間はあつという間でした。クラスマッチと村産祭は特に印象に残っています。クラスマッチに向けて体育の授業以外にも昼休みや放課後、試合当日の朝も体育館で練習をしていました。その結果、男子バスケットと男子バレー優勝、男子総合一位という成績を残すことができました。村産祭では、「金だこ」と題してたこ焼き、ポップコーン、錦あめを販売しました。初めての食



品販売で戸惑うことも多かったですが、大盛況でした。今までの思い出はすべてこの十八人だからできたと思います。卒業までの時間を大切にしたいです。

三年五組 遠藤美寿々

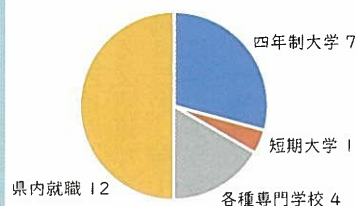
このメンバーで過ごした三年間はあつという間でしたが、一・二年のときは検定に、三年のときは実践に振り回され忙しすぎる学校生活でした。

このクラスの良い点はいくつか意味で元気づけることです。クラスマッチでの団結力は他とは比べられないほど凄まじいです。私も見ていて引きまします。課題研究では村産・村山市のいい点について学ぶことができました。進路先が銀行だったり、某チェーン店だったり、大学だったりバラバラですが、村産で学んだことは確実に生かされるでしょう。色々ありましたが、私にとって良い青春です。三年間ありがとうございました。

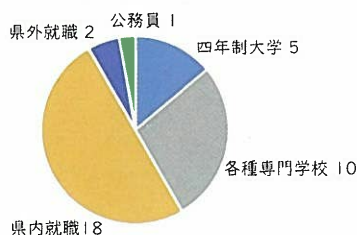


進路状況

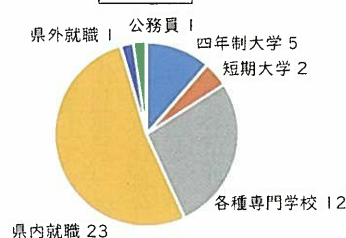
商業科



工業科



農業科



部活動紹介(文化部編)

家庭部

家庭部は、二年生三人、一年生十二人で活動しています。主な活動内容は、調理・被服の資格取得や文化祭に向けての製作に取り組んでいます。

また、野菜の栽培を昨年度から始めていて、自ら栽培した野菜で調理などもししています。今年度からは、国際ソロプチミストSクラブに入会しました。会員になったからには、学校と地域社会への奉仕活動をソロプチミストの方と協力し、頑張っています。

ビジネス部

ビジネス部は情報処理、商業経済の二班体制で活動に取り組んでいます。情報処理班は全国高等学校ワープロ競技大会県予選会及び県高等学校新人ワープロ競技大会上位入賞を目標に日々練習を行い、福島県郡山市で開催された東北六県高等学校ワープロ競技大会に昨年度に引き続き出場することができました。

商業研究班は、部活動で開発した「薔薇そうめん」をムランサンキタマチマルシェで

の販売や「むらやまあきんどちゃんねる」とのコラボ企画の実施などに取り組んでいます。

農業技術部

農業技術部では学校内で果樹や部活で育てた野菜の販売、ムランサンキタマチマルシェでの部活動紹介、販売を主に活動してきました。

ムランサンキタマチマルシェでは、自分達で栽培したトウモロコシでポップコーンを作り販売しました。味・値段とどちらも好評でたくさんの方々に喜んで頂けました。

農業科学部

農業科学部は、一、二年生十九名がサトイモ研究班とエンドファイト研究班の二つに分かれて活動しています。サトイモ研究班では、山形県民の需要に合わせて八月にサトイモを収穫するための超促成栽培の研究を行っています。エンドファイト研究班では、地域課題である化学肥料の高騰を解決しようとソバやイネを対象として共生微生物の研究を行っています。このような活動で得た成果を大会やメディアを通じて地域に伝え、様々な形で評価されています。

吹奏楽部

今年度は部員が三人で非常に大変でしたが、やれることを探して精一杯頑張りました。壮行式が対面で行われるようになり、選手退場時に校歌を演奏させてもらいました。

村産祭では、アンサンブルコンテストに向けた曲に加え、ポップスを数曲演奏しました。一緒に歌で盛り上げて下さった方々に深く感謝しています。二月には校内でミニコンサートをする予定で現在頑張っているところですよ。

機械探究部

ムランサンキタマチマルシェでは各種のワークショップを行い、カナダ・バリー市との交流ではサンドブラストによるコップの製作体験を行いました。ロボコン山形県大会では初優勝とメカトロアイディア大賞を受賞し、全国大会に二年連続で出場しました。やまがた高校生ロボコンは初戦敗退でした。山形県発明くふう展で、シン・ミュージックBOXが優秀賞を受賞し、全国発明くふう展へ初出品することができました。

電子情報技術部

電子情報技術部は四つの班に分かれ、それぞれの目標に向けて活動しています。電気工事班と3DCAD班はものづくりコンテストに向けて、マイコンカー班はマイコンカーラリー、EV3班はWROジャパン大会に向けて頑張っています。電気工事班と3DCAD班は特に、人に対してどのようにして役立てるかを意識し、マイコンカー班とEV3班は効率良くプログラムを作ることを意識しています。

美術部

「日進月歩・高みを目指して歩み続けよう」を目標に今年度も様々な活動に取り組みました。特に県高校美術展では、二点の奨励賞を受賞し二月から山形市で行われる県高校優秀作品展に推薦されました。また毎年応募している明るい選挙啓発ポスターコンクールでは、四年連続で全国審査に進みました。少人数の部ではありますが、皆仲良く切磋琢磨し合いながら成長できるように、今後も頑張っています。

又新連部

むらやま徳内ばやしを一年中練習出来る又新連です。現在部員が踊り二名、囃子五名と少なく、以前のような迫力のある演舞は出来ていませんが、村山農業高校時代から受け継がれている演舞を大切に日々練習しています。今後も良い演舞を届けられるように練習を頑張っています。



書道同好会

今年度から同好会になりましたが、二年生一人、一年生六人の計七人で活動しています。コーチの工藤先生から優しく丁寧に指導していただき、村産祭での作品展示、書道展や最北地区高校文化作品展への出品を行うことができました。地区書道部研修会やリーダー講習会にも参加し、技術を高める良い機会となりました。限られた時間の中で、書を楽しむながら、技術の向上を目標に頑張っています。

